

## これからの宇部高専—宇部常盤会の皆様へ—

校長 福政 修

宇部常盤会の皆様には、お健やかにご活躍のこととお喜び申し上げます。常日頃より宇部高専の運営に対して、ご理解ご協力をいただき誠に有難うございます。

さて、私は平成21年4月に本校の校長に就任いたしました。本年3月末を持って定年退職いたします。在任中のご支援ご協力に感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

本校での5年間、貴重な体験を積むとともに楽しい時間を過ごしました。15歳の若さで入学してくる学生のいるキャンパスは新鮮でした。教育、研究、社会貢献に加えて、クラブ活動も含めた日常の学生指導に時間がかかることを知り、教職員諸氏の頑張りを実感しました。また、学生諸君は例外なく高いポテンシャルを持っており、その成長する姿を見守るのは大きな喜びであり、心強く感じます。その一方で、高いポテンシャルを持っているにもかかわらず、自分ではそのことに気付いていない者も多くいることを知りました。学生諸君に新しいやりがいのある課題を設定して取り組ませ、問題解決の経験と喜びを通して、自らの潜在能力の高さに「気付かせる教育」を実現させたいと強く感じています。

思いで深い出来事の第一は、やはり、宇部高専の創立50周年という大きな節目に立ち会えたことです。平成24年10月10日の記念式典では、教職員一丸となって新たな気持ちで、人材育成に力を注ぐことを誓いました。今後は、「グローバル化」、「イノベーション対応」を意識しつつ、世界水準の技術を持ち、自立的、協働的、創造的な姿勢で社会の諸問題に立ち向かう人材の養成に徹するとともに、社会・産業との連携を深め、地域に役立つ宇部高専の実現を図りたいと思います。なお、本校のこれまでの良き伝統を受け継ぎ次の50年に向けて大きく飛躍することを願って創立50周年記念事業を計画いたしました。記念式典、記念誌の発行を含め、国際交流活動およびキャリア教育の推進、卒業生と本校の連携を深めるためのネットワーク構築が主な内容です。品川会長様をはじめ、多くの会員の皆様からご支援をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年度も、全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストのスピーチ部門で田中綾乃さん(4B)が優勝、ETロボコン2013チャンピオンシップ大会においてETロボコン同好会がアーキテクト部門で全国優勝するなど、

多くの学生諸君が幅広い分野で活躍しました。このような課外活動も自分の潜在能力に目覚める良い機会です。部活動で先輩・後輩が強い絆で結ばれていれば好都合なのですが、先輩方の息吹を後輩達にいろいろの形で伝える等、是非とも外部から刺激を与えていただきたいと思えます。

創立50周年を迎えた年の10月13日(土)、同窓会総会に参加させていただきましたが、宇部高専が今日有るのは、偏に皆様方の社会でのご活躍が有つての結果であると改めて感じた次第です。私どもは、この雰囲気や学生諸君に伝えたいとの思いを実現できるようにソフト面ハード面でのキャンパス整備に努めたいと考えております。その一環として、ネットワーク構築、50周年記念資料展示室の設置を記念事業に取り入れました。会員皆様のご支援をいただきながらのスタートとなりましたが、資料展示室は既にオープンし、特集企画展示も実施しております。今後も先輩方の息吹を後輩に伝えるスポットとして宇部高専の広報活動に活用すべく育ててゆきたいと考えております。皆さんが時には本校を訪ね、語らい、同窓会活動の場として、また、生涯の学習の場として、活用していただけることを願っております。

終わりにあたり、宇部常盤会の皆様のご発展を祈念いたしますとともに皆様方と本校との連携が進化することを願っております。校長としてのこれまでの5年間、お世話になりました。誠に有難うございました。

(平成26年3月17日)